



習得した技を一番最初に見せると、「すごいね」と驚き、心配しながらも見守ってくれるご両親に感謝している陽くん



# 小さな子ども達に見てもらおうと上達する 見てくれる人とのコミュニケーションを大切に これからもジャグリングを通じて成長したい

吉田 陽くん(ジャグラー・中学3年生)

皆さんはジャグリングをこ  
存ですか。いろいろな物を  
技と道具で操る曲芸です。人  
通りの多い場所やテレビ番組  
で、中国独楽こまを紐ひもで操ったり、  
複数の箱やボール、こん棒で  
お手玉をしている人を見たこ  
とがあるのではないでしょう  
か。日本ではまだあまり知ら  
れていませんが、ジャグリン  
グは根気と集中力が必要で、  
激しい動きによって身体能力  
と精神力も鍛えられることか  
ら、教育に採り入れている国  
もあるほど奥が深いのです。

そのジャグリングの練習を  
通じて第二児童館利用者の人  
気者になっていく若者がいま  
す。狭山台にお住まいの中学  
3年生、吉田陽くんです。今年  
6月、たまたま遊びに行った  
都内の公園で以前から興味か  
あったジャグリングを目にし  
「かっこいい。やってみたい」  
という一心で、一人、近所の公  
園で練習を始めました。とこ

ろが人通りが  
少ないため、  
練習に不可欠  
な「観客の反  
応」が得られ  
ません。そこ  
で小さいころ  
遊びに行っ  
ていた児童館を  
思い出したの  
です。「中学生  
に個人的に使わせてくれるか  
な。まだ未熟なのに人に見せ  
られるだろうか」と児童館へ  
相談しに行くまでとても迷っ  
たそうです。それでもジャグ  
リングを始めるときだって悩  
みだけだと、自分で決めて行  
動したんだから、今回もやっ  
てみよう」と決心し、自分の思  
いを伝えます。児童館側は危  
険がないように練習し、子ど  
も達にも見せてあげることが  
できるならばと練習を許可し  
ました。それから夏休み返上  
で特訓を開始。汗だくで懸命



「小さい子に夢を与えられるようなジャグ  
ラーになりたいです」と抱負を語ります  
陽くん、上達するに  
は大人よりも小さな  
子どもに見てもらっ  
た方が勉強になると  
言います。それは子  
ども達が素直だから  
すごいと思えば驚き  
つまらないと反応し  
ない。言葉や雰囲気  
でノッてくれる大人  
と違い、子ども達は  
とてもシビアです。反面、風船  
で動物などを作ると大喜びで  
持つて帰るのがうれしいそう  
です。そして練習の成果で、11  
月3日には児童館のお祭で単  
独ジャグリングショーを行う  
ほど腕前も上がりました。

陽くんはジャグリングで  
培った集中力や観客とのコミュ  
ニケーションが自分を成長さ  
せてくれていると感じるそう  
です。将来は大きな舞台で披  
露することを夢見ながら、児  
童館で大勢の親子に見守られ  
今日も練習に励んでいます。

に練習する中学生の話は口こ  
ミで伝わり、8月には陽くん  
が練習に来るのを楽しみに待  
っている親子も現れたのです。  
こんなふうには、児童館で利  
用者や職員など、多くの人と  
ふれあひながら練習している

# ものづくり 狭山人づくり の産業



今年は里芋が豊作で農業まつりでもたくさん販売されます。ぜひ食べてみてください

**楽**しみながら、自分の家だけでなく狭山の農業全体を真剣に考え、それぞれが努力しています...そう話すのは、野菜農家の室岡英紀さん、狭山農業青年会議所の代表です。狭山農業青年会議所とは27歳以上の若手農業後継者の組織で、現在は野菜・茶・花・果樹などの農業を支える41名が市内全域から集まり、講演会や親睦会、委員会の事業を通じて連携をとりながら活動しています。現在は、11月23日にJAいるま野狭山事業部で開催される農業まつりを盛り上げるために、焼きそばとチョコバナナの出店準備を進めています。お茶や野菜をはじめ狭山の農作物は市場で評価が高く、その素晴らしさをもっと市民の皆さんに分かってもらいたい...まずは農業まつりでたくさんの人にそれを伝えよう、という熱い思いを持ちながら、地元に着した活動で狭山の農業を盛り上げている、明るく元気な皆さんです。  
(前列右端・室岡英紀さんほか狭山農業青年会議所の皆さん)

## くさね自治会

東三ツ木自治会

新狭山駅の南側に位置する東三ツ木自治会は、1千650世帯で組織されています。班長会と環境衛生委員会から毎月報告が配布され、家庭への連絡事項が回覧で周知されていますが、これは過去の役員が改良を重ねた結果、今日まで続いている仕組みです。また、資源回収などリサイクル事業が早くから提唱されている地域でもあります。夏祭り、敬老会、餅つき大会など活発に活動していますが、なかでも今年度の体育祭は過去最高得点で優勝。志気が高まり、団結力抜群の自治会です。



団結力で優勝を勝ち取った体育祭

## Hello ハロー 仲間たち

Vol 267

ママさんバレーボールチーム  
「アーミーズ」



アーミーズは18年以上の歴史あるチームです。メンバーは監督・コーチを含めて19名で、市内全域から集まります。水曜日(西中学校体育館)と土曜日(狭山台南小学校体育館)が練習日で、多くのメンバーが10年以上続けているほど熱心に活動しています。しかも熱心なだけでなく、経験者が初心者に教えるなど、練習風景はとても和気あいあいとしぎやかです。家族も協力的ですし、子ども連れするときもみんな面倒を見ながら練習するので、自然に子ども同士が仲良くなり、大きくなってからも練習についてきて一緒に輪に加わる子もいます。

よく、バレーボールって痛そうですねと言われる。確かに、育兒などで長い間練習を休んでいた後は腕が真っ青になることもあります。が、復帰後しばらく練習をしているうちに痛くなくなります。そして、メンバーみんなが、その痛みをもっともしくらいの魅力が、バレーボールとこのチームにあると思っています。

問合せ

浜崎真紀子さんへ

☎954 7303